

Yamakado News Letter



咲き乱れるトクワカソウ



北尾根のトクワカソウ群生地（斜面下から撮影）4月17日 / 急斜面を覗き込むように観察するJRハイキングの参加者
防獣ネットの効果もあり、今年も斜面一面に咲き乱れるトクワカソウが観察できました。4月15日にはJRハイキングが開催されましたが、参加された方々も口々に「こんな開花の一番良いタイミングでここに来て、運が良かった」と喜ばれていました。

待った無しの防獣ネット再設置

3月8日時点で楽舎の積雪計で81cmあった雪も18日には0になりました。湿原でも所々地面が見え始めていて、そうすると獣害ネットの再設置を急がなければなりません。3月14日のネットの掘り出し作業から始まり、日々コツコツとネット掛け直しやトタン設置を行い、また4月1日の保全活動の日には多くの会員も作業を行い、湿原三ヶ所のネットとトタンの再設置を完了することができました。その後、沢道の2ヶ所のササユリ防獣ネットや、ブナの森から守護石にかけての4ヶ所のササ防獣ネットの再設置も順次行いました。



雪からネットを掘り出す作業 3/14



保全作業の日 4/1 Photo by saji



沢道ササユリネットの再設置 4/4

3月後半から4月前半にかけての森の様子

3月後半から4月にかけては、例年編者はこの時期の森の様子をあまり観察できていませんでした。しかし今年度は4月1日から様々な花の観察ができました。

沢道沿いのキタヤマオウレンは2月前半から咲き始め、ピークは3月後半でした。4月8日には沢道沿いのササユリの発芽を確認。その後ネット保護区外でも発芽が見られるようになりました。これから暫くは金網かけ作業が忙しくなります。



雪の中でマルバマンサク開花 3/8



雪の下からフキノトウ(付属湿地)
3/10



ショウジョウバカマ開花(尾根道入口)
3/22



キタヤマオウレン最盛期(沢道)
3/27



湿原沿いのタムシバー齊に開花 4/6



キンキマメザクラ満開(湿原展望所)
4/14



ミツガシワ開花始まる(付属湿地)
4/17

土壌流出量の調査ができないか

4月12日、琵琶湖環境科学研究センターの小島氏と三井氏が来訪。ワクドキの森のアカガシ林と天然更新試験地のネット内外で、土壌流出量調査を前提とした現地確認をして頂きました。3ヶ所とも目視ではリター（落葉）が多く土壌流出の検出はできないだろうとのこと。しかし、天然更新地の再生状況やアカガシ林を再整備する場合はその前後の状況資料として調査をする価値はあるとのことでした。



小島氏(左) 専門 森林水文学 森林環境の変化に伴う土砂等の流出状況調査
三井氏(中) 専門 森林保護 シカ不嗜好生植物による緑化調査



アカガシ林と天然更新試験地の現地確認

